



2021年11月2日

スキージャンプ、コンバインド、クロスカントリー日本代表 2021-22シーズンのオフィシャルウエア・レーシングスーツ完成



(左から：伊東大貴選手、小林潤志郎選手、伊藤有希選手、佐藤幸椰選手、小林陵侑選手、
勢藤優花選手、中村直幹選手、佐藤慧一選手)

ミズノは、公益財団法人全日本スキー連盟とのオフィシャルユニフォームサプライヤー契約に基づき、2021-22シーズンの国際大会で、スキージャンプ、コンバインド、クロスカントリーの日本代表選手が使用するオフィシャルウエア・レーシングスーツを製作しました。

今シーズンのデザインも、日の丸を表現するレッドをメインカラーとして採用しました。納品するアイテムには、軽さ・動きやすさを追求したウエア設計や、耐水圧・保温性に優れた素材の採用など、ミズノがスポーツ品の開発で培ってきたテクノロジーが活かされています。ウォームアップ用アイテムからレーシングスーツまで豊富なラインナップを提供し、寒冷地のいかなる状況でもベストなパフォーマンスを発揮できるように、“SNOW JAPAN”の選手をサポートしていきます。

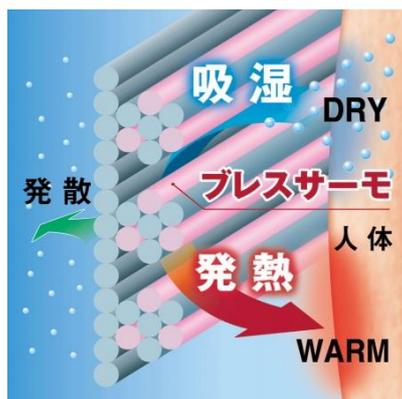
日本代表の小林陵侑選手、高梨沙羅選手、渡部暁斗選手らが国際大会で着用します。

“SNOW JAPAN”の選手をサポートするミズノのテクノロジー

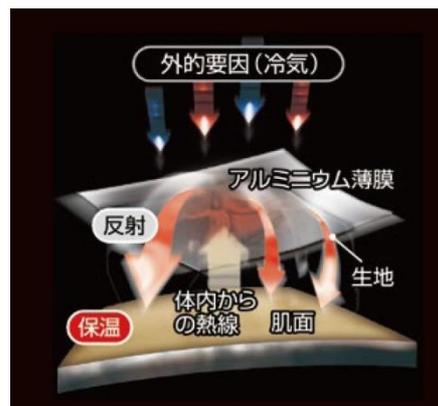
〇スキージャンプ、コンバインド、クロスカントリー日本代表 共通のオフィシャルウエア

1) 暖かさと軽さを両立させるミズノ独自素材

ミズノは、スキーウエアにおいて、暖かさだけでなく、軽さも備えていることが重要だと考えています。そこで、体から発生する水分を吸収して発熱効果をもたらす『プレスサーモ』と、適度な透湿性と保温性を高めるために、薄くて軽いアルミニウムを特殊コーティングした『リフレクションギア』を組み合わせました。これにより、暖かさと軽さの両立を実現しました。



プレスサーモの発熱の仕組み（イメージ）



リフレクションギア（イメージ）

2) 動きやすさを追求したウエア構造『ダイナモーションフィット』

『ダイナモーションフィット』とは、解剖学や3次元CGを駆使したトップアスリートの動作解析をもとに、運動時の動きやすさを追求したウエア構造です。スキーウエアにも、この『ダイナモーションフィット』を採用し、滑走時のストレス軽減など、スキーヤーのパフォーマンスを最大限サポートします。

3) 20,000mm以上の高耐水圧素材を採用

ウエアの防水性能は、スキーヤーにとって必要不可欠な機能です。そこで、ミズノのスキーウエアは、20,000mm以上^{※1}の高耐水圧素材を採用しています。また、ウエアにシームシーリング加工を施すことで、縫い目からの水の侵入を防ぎます。 ※1 JIS-L1092 高水圧法 準用

〇トップ選手のパフォーマンスを支えるレーシングスーツ

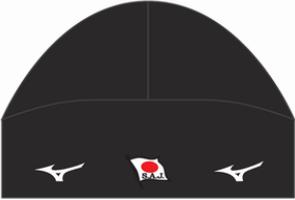
ミズノは、スキージャンプスーツ、クロスカントリーのレーシングスーツを公益財団法人全日本スキー連盟と共同で開発しています。レーシングスーツは、国内のミズノ自社工場「ミズノテクニクス（株）氷上工場」（兵庫県丹波市氷上町）で開発サンプル製作から生産まで行っています。長年培ってきたカッティング製法や縫製技術を活かして、選手がベストなパフォーマンスを発揮できるようサポートします。



納品アイテム一覧

			
<p>ダウンパーカー & スキーパンツ</p>	<p>レインパーカー & レインパンツ</p>	<p>ウインタートレーニング ジャケット & ウインタートレーニングパンツ</p>	<p>クロスカントリー レーシングスーツ</p>

		
<p>ウインタートレーニング ベスト</p>	<p>ライトダウンパーカー</p>	<p>ポンチョ</p>

		
<p>ニットキャップ</p>	<p>レーシングヘッドキャ ップ</p>	<p>レーシングヘッドバンド</p>

※SNOW JAPAN 納品アイテム（一部）のベースモデル販売について

ウインターレーシングジャケット・パンツ・ベストのベースモデルは2021年11月下旬から順次販売、
ダウンパーカー、クロスカントリーレーシングスーツのベースモデルは2022年6月から順次販売します。

▼ミズノスキーの詳細はこちら

<https://www.mizuno.jp/ski/>

（お客様のお問合せ先）

ミズノ お客様相談センター

TEL：0120-320-799